

令和7年2月5日

福島市・あづま山麓 「酒 SAKE と盆栽 BONSAI」パネル展を開催します。

福島市・あづま山麓エリアには、磐梯朝日国立公園・吾妻山の大地から流れ出る豊かな伏流水を使って酒をつくる5人の蔵元と、三世代・百年に渡り吾妻五葉松の自然の姿を盆栽として表現する作家がいます。

市では、彼らによって生み出される「酒と盆栽」をテーマに、「あづま山麓エリア」を訪れる旅を提案しています。

新たな旅の視点でこの地を訪れ、吾妻の大自然の恵みに触れる、そんな時間を感じられるパネル展を、このたび下記のとおり開催します。

記

- 1 日 時： 令和7年2月7日(金)～2月28日(金)午前9時～午後5時
- 2 場 所： 道の駅ふくしま 道路情報コーナー
- 3 内 容： パネルの展示
- 4 主 催： 福島市



担当:観光交流推進室
室次長 守山、地域資源振興係長 中野
電話 024-525-3722(直通)



酒 SAKE と 盆栽 BONSAI



福島市・あづま山麓

Fukushima City,
Azuma Sanroku



あづま山麓ゲイリズム



@azuma_sanroku

吾妻山の自然と生きる「蔵元」と「盆栽作家」

「あづま山麓エリア」とは、福島市のシンボル「吾妻山」のふもとに広がる資源豊かな地域を指します。そこには、吾妻山の大地から流れ出る豊かな伏流水を使って酒造りをする5人の蔵元と、三代・約百年に渡り吾妻山に自生する吾妻五葉松の自然の姿を盆栽として表現する作家がいます。福島市は、この「あづま山麓エリア」を訪れる観光客をターゲットに《吾妻蔵元ツーリズム》と《吾妻五葉松をめぐる山旅》という旅のあり方を提案し、「酒と盆栽」をテーマとした誘客に取り組んでいます。蔵元や盆栽作家が共通して口にするキーワード「吾妻山」。新たな旅の視点でこの地を訪れ、吾妻の大自然の恵みに触れ、その時間をじっくりと堪能してみてください。

【吾妻蔵元ツーリズム】

日本酒・クラフトビール・ワイン・どぶろく等の多様な酒を醸造する5つの酒蔵が、令和6年より福島市のあづま山麓エリアに集結しました。吾妻山の大地がもたらす大自然の恵に魅せられ、それらを活かした酒造りに取り組んでいる蔵元たち。《吾妻蔵元ツーリズム》では、それぞれの酒造りと吾妻の自然との関わりを深掘りし、そこに生きる蔵元にも触れることで、造り手の「顔」や「想い」に触れながら酒を味わうことができるストーリー性の高い旅のスタイルを提供しています。

【吾妻五葉松を巡る山旅】

日本三大五葉のひとつ「吾妻五葉松」。「あづま山麓エリア」には、吾妻山に自生する五葉松の盆栽をつくる盆栽園が百年以上前から存在します。そして、その盆栽文化を後世に残そうと「種一粒」から苗を育てる「実生」の手法を確立させ、国内外に普及させたオリジンが、実はこの地にあるのです。およそ百年、三代に渡って手渡されてきたのは、それらの技術だけでなく、自然の摂理に対する飽くなき探求心や、情景を切り取り絵の上に表現する見立てなど、自然を感じる技が多く秘められていると言えます。《吾妻五葉松をめぐる山旅》では、盆栽作家の視点を持って吾妻山を見ることにより、彼らの美意識や感性の片鱗に触れ、これまでと違った視点で楽しむ旅のスタイルを提供しています。

© Adataru Azuma Nature Center



金水晶 四季の蔵

日本酒

@kinsuisho_shuzo



みちのく福島路ビール

クラフトビール

@fukushima.jl.beer



吾妻山麓醸造所

ワイン

@winery_azuma_sanroku



おららの酒BAR・醇醸蔵

どぶろく

@orara_tsuchiyubrewery



Yellow Beer Works

クラフトビール

@yellowbeerworks



ほんさいや あべ

吾妻五葉松盆栽

@bonsai_abe

